

ニュース

全関労

2019年
10月10日
VOL. 46
No. 4

東京都台東区小島1-8-7

03 (3863) 3433

全関東単一労働組合本部

安倍改憲・戦争内閣を打ち倒そう

10・22即位式典反対 天皇制賛美・翼賛ゆるすな

9月11日、安倍再改造内閣が発足した。一部マスコミでは「在庫一掃内閣」などと揶揄されているが、安倍首相が改造後の記者会見で「(改憲を) 必ずや成し遂げる決意だ」と語っているように、その目的は改憲を推進することにある。党や内閣の要職に側近の改憲推進派を配置し、改憲に向けた布陣を敷いているのだ。先の参院選で、改憲勢力が、発議に必要な三分の二を割ったが、極右・N国党や国民民主党などの一部を巻き込んだ突破を画策している。

自民党の改憲四項目案は、①自衛隊明記(9条) ②教育充実(25条) ③参院「合区」解消(47条) ④緊急事態条項新設(73条)である。中でも①と④はその本丸だ。世界有数の軍事力を持つに至った自衛隊を「国軍」として確立し

10/21 集会へ

新天皇即位国家式典・大嘗祭粉碎!

反戦・改憲阻止!

反天皇制労働者全国集会

日時 10月21日(月) 18時半〜

会場 全水道会館(JR水道橋駅)

主催 反戦反天皇制労働者ネットワーク

外国派兵ができるようにすること、また、「非常時（国会の機能不全時）」に内閣が緊急政令で法律同様のルールを定められるようにし、内閣（首相）の独裁体制を確立することがその狙いだ。

安倍政権は10月4日に召集された臨時国会で憲法審査会を動かし、改憲発議に打って出ようとしている。憲法審査会開催を許さず、改憲発議を阻止しよう。

10・22 天皇即位式典―「神道儀式」 反対

「祝意」 強制・「日の丸」掲揚反対

単一労組協議会は今年5月1日、国際闘争日・メーデーに新天皇即位日をぶつけ、改元・休日化、「祝意」を強制してきたことに対し、メーデーつぶしを許さず、ストライキ・職場放棄で反天皇帝メーデーを闘おうと訴えた。

われわれ全労協は「2019反天皇帝メーデー労働者行動」を呼びかけ、当日、日比谷の会場には80名を超える仲間が集し、講演集会とその後のデモで反天皇帝メーデーを闘った。改憲攻撃と一体に天皇制強化が図られている。5月1日の天皇即位式に続いて、5月4日「即位一般参賀」、10月22日「即位式典」、11月9日「即位奉祝国民祭典」、11月14・15日「大嘗祭」と立て続けに代替わり儀式が行われる。

10・22「即位式典」では、「即位礼正殿の儀」、「祝賀御列の儀」が行われる。前者は新天皇が即位したことを国の内外に宣言するもので、後者は「祝賀パレード」だ。いずれも

「神道儀式」（宗教行事）だが、「国事行為」（国家行事）として多額の税金が投入される。当日以降「饗宴の儀」（晩餐会）も行われる。

政府は10月22日を5月1日と同様休日とし、「日の丸」を掲揚するよう通知している。「即位礼正殿の儀」では190を上回る国と国際機関、各界の代表ら2500人を招き、「高御座（たかみくら）」に昇った天皇が参列者を見下ろす形で即位を宣言し、安倍首相が国民を代表して「祝意」を述べ「天皇陛下万歳」を三唱する。まさに国民が天皇の下僕（奴隷）であることを確認する儀式だ。休日化・「日の丸」掲揚
|| 「祝意」 強制をゆるすな。

11・9 「国民祭典」への動員ゆるすな

「連合」の天皇制翼賛弾劾

11月9日「即位奉祝国民祭典」が皇居前広場で行われる。この「祭典」で、来年の大晦日を最後に活動休止を発表している人気グループ「嵐」が「奉祝ライブ」を行う予定だ。人気グループを出演させることで、若者たちを「祝賀」に動員しようというのだ。すでに前天皇（現上皇）アキヒトの即位10年祭典ではYOSHIKI、即位20年祭典ではEXILE、そして今年2月の即位30年では三浦大知を出演させている。即位20年祭典の際、天皇・皇后は二重橋に提灯をもって立ち「奉祝」に込めている。夥しい数の提灯と「日の丸」による「奉祝国民祭典」が演出されることになる。

ところで、主催者の「祝意奉祝委員会」（名誉会長・中西経団連会長）の代表世話人に「連合」の神津里季生会長も名を連ねている。そして香津は即位30年奉祝委員会設立総会の席上、園遊会において天皇から声をかけられたことに触れ「尊崇の念をひたすら熱くするところ」と述べ、天皇（制）への隷従振りを臆面なく露わにしている。資本・国家と闘わず、天皇（制）翼賛勢力になりさがっている「連合」を弾劾しよう。

天皇制廃止の闘いを

10・21集会、10・22行動に結集しよう

天皇制は「万民平等」の普遍的原則に真つ向から敵対する制度だ。天皇制を貫く男系男子による世襲制は身分差別、女性差別、「障害者」差別、民族差別を不断に助長拡大する。

労働者階級が国家や資本家階級と闘うことによつて自らの政治的・経済的・社会的地位の向上と資本家からの自立と解放をかちとることは天皇を頂点とした差別社会の解体抜きには果たしえない。自由と平等な未来を切り開いていくため、天皇制との闘いは不可欠である。

改憲と戦争の安倍政権を打倒しよう。天皇制廃止の闘いを強化しよう。

10・21集会、10・22デモに結集しよう。

単一労組協議会闘争スローガン

*天皇即位式典（大嘗祭）反対！

天皇制賛美・翼賛許さない！

職場・地域・教育現場での「祝意」強制やめろ！

「日の丸」掲揚・「万歳三唱」反対！

元号廃止！使用を強制するな！

天皇制国家による侵略戦争・植民地支配の

責任徹底追及！謝罪と賠償を行え！

人民主権を否定し、差別・排外主義を生み出す

天皇制を廃止しよう！

*労働時間短縮を闘いとうろ！

非人間的過酷労働を追放しよう！

「8時間労働制」の再確立を！「過労死残業容認・

新36協定」撤廃！労基法36条を廃止しよう！

労災・職業病の発生責任追及し、根絶を！

職場・地域からセクハラ・パワハラを根絶するぞ！

*全国一律最賃・時給1500円をかちとろう！

性別・国籍・年齢・地域など、いっさいの差別なく

一律大幅賃上げを！

*非正規差別・女性差別撤廃！

有期雇用・派遣労働の廃止を！

*技能実習制度撤廃！外国人労働者への一切の

差別許さない！ 入管体制解体！

解雇自由法制化を阻止しよう

金銭解決制度は政府の規制改革会議が「規制改革に関する第三次答申」の中で導入を明記した。裁判で解雇が無効と判断されても金を払えば労働者を職場から排除できるというもので、独占資本の意向を受けて産業競争力会議なども以前から主張してきたものだ。

厚労省はこの報告を受けて「透明かつ公正な労働紛争解決システムの在り方に関する検討会」を設置し、同検討会は「解雇の金銭解決制度」について一昨年（2017年）5月、報告書を取りまとめた。同報告書は検討会全体の合意が得られず賛成、反対の両論併記の報告を出さざるを得なかったため、御用学者による検討会を作り、来年（2020年）の制度化を目指している。同検討会では「解決金」ではなく、労働契約を終了させるための「解消金」という表現が使われている。対象をすべての解雇・雇止めにするのか否か、「解消金」の位置づけ、「解消金」の算定方法、権利行使の期間などについて検討している。そもそもこの検討会は解雇に関する労使紛争をいかに使用者側に有利に収拾するかの観点から設置されたもので、金銭解決制度は解雇自由の本丸ともいえるものだが、既に解雇・賃金切り下げの和解の9割以上が金銭解決で実態は先行している。労働者の職場闘争を封じ込め首を金で買い取る制度など絶対にはやらせてはならない。解雇自由法制化を断固阻止しよう。

反天皇制集会・行動の案内

★10/20 反天皇制・反戦・改憲阻止行動

日時 10月20日（日） 午後1時30分～

会場 千駄ヶ谷区民会館 第一会議室

講演 「共産主義と天皇制」

講師 伊藤晃さん（日本近代史研究者）

資料代 500円

主催 同行動

★天皇制廃止に向けた10・21集会

日時 10月21日（月） 午後1時30分～4時30分

会場 南大塚地域文化創造館第一会議室

問題提起 今なぜ天皇制廃止を言うのか

日本人にとつてのアイヌ民族遺骨問題

天皇制とオリンピック歴史と現在

資料代 500円

主催 労働者共闘 労働運動活動者評議会

★10・22 天皇即位式反対デモ

日時 10月22日（火） 13時開場 15時デモ出発

会場 ニュー新橋ビル地下ホール

主催 おわてんねっと